

# 未来のがん治療

～世界をリードする大阪・関西・日本発の医療技術～

## 開催趣旨

近年、がん治療における最前線は目覚ましい進展を遂げています。従来の外科的手術、化学療法、放射線治療、重粒子療法に加え、遺伝子情報を活用した新たな治療法が次々と登場し、がん患者の治療選択肢は大きく広がりを見せています。しかしながら、こうした新しい治療法が臨床現場に実装されるまでに多くの課題があり、非常に有望ながらも、研究から臨床に至るまでの道のりで直面する障害や問題をどう乗り越えるかが重要なポイントとなっています。

講演では、最初に大阪国際がんセンターの取り組んでいる従来のがん治療療法に加え、遺伝子情報を活用した集学的治療を紹介いたします。次に遺伝子情報を活用した最先端のがん治療の現状と課題について専門家をお招きし、各分野の最新の研究成果と実践例を紹介していただきます。先端がん治療遺伝子情報を駆使した最先端の治療法や個別化医療のプレシジョンメディスンに焦点を当て、がん治療の未来を拓くために必要な知識と課題について深く掘り下げます。がん患者の命を救うために日々奮闘する医療従事者、研究者、そして患者自身にとって、これからの治療法がどのように進化し、どのように実現されるのか、共に学び、議論を深めていきたいと考えています。

16:00～16:10 **開会の挨拶**

一般社団法人生産技術振興協会 理事長 **堀池 寛**

## 講演 1

## 大阪国際がんセンターの先端がん治療

16:10～16:40

講師 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 総長 **松浦 成昭氏**



1976年 大阪大学医学部卒業  
大阪大学医学部教授、大阪大学大学院医学系研究科教授を経て  
2014年4月から 大阪府立成人病センター総長  
2016年6月10日付 大阪対がん協会会長  
日本病理学会評議員  
日本癌学会評議員  
日本炎症学会評議員

## (講演内容)

大阪国際がんセンターにおける最新のがん治療の取り組みと成果についてお話しします。当センターは、がん治療の最前線であるだけでなく、従来の外科的手術、化学療法、放射線治療、重粒子療法に加え、遺伝子情報を活用した治療にも積極的に取り組んでおり、その実践的な成果は多くの患者に希望を与えています。講演では、当センターの取り組みを通じて、最新のがん治療の取り組みとともに、今回のテーマである個別化医療のプレシジョンメディスンの現状や、遺伝子医療が実際の治療現場で今後どのように活用されているのか、そしてその未来について、臨床現場の視点から貴重な情報を提供いたします。